NEWS RELEASE

2026 年 11 月 25 日
株式会社エフエム東京

株式会社エフエム東京　第 62 期（2026 年度）中間業績概要

1.　第 62 期（2026 年度）中間業績概要

（1）　中間業績概要　（金額単位：百万円）

	当期 2026 年度 中間期	前期 2025 年度 中間期	前期比	予算比
売上高	4,620	4,965	93.1%	96.1%
放送事業収入	4,076	4,452	91.6%	96.5%
IP 企画事業収入	508	473	107.3%	92.4%
その他の事業収入	35	38	91.8%	105.8%
営業費用	4,485	4,844	92.6%	95.1%
営業利益	134	120	111.8%	146.1%
経常利益	297	309	96.2%	121.7%
特別利益	－	－	－	－
特別損失	－	－	－	－
当期純利益	277	301	92.2%	－

（2）　業績概況

当期は、売上高が 46 億 20 百万円（前期比 93.1%）と減収ながら、営業利益は 1 億 34 百万円（前期比 111.8%）と増益となりましたが、子会社の業績不振により受取配当金が 36 百万円減少したことで、経常利益は 2 億 97 百万円（前期比 96.2%）、当期純利益は 2 億 77 百万円（前期比 92.2%）と減益となりました。

事業セグメント別の中間期の概況は以下のとおりです。

【放送事業収入】

4 月改編時にレギュラーを大きく落とした影響により、タイム放送収入は前期比 88.2%、これと連動するインターネット収入（BtoB）も前期比 76.1%と低迷。一方、スポット放送収入は 8 月以降大きく回復し、前期比 106.3%と堅調に推移しました。

タイム放送収入及びインターネット収入の減少に伴い、原価が大きく減少（前期比 87.2%）し、減益への影響を抑制しました。

【IP 企画事業収入】

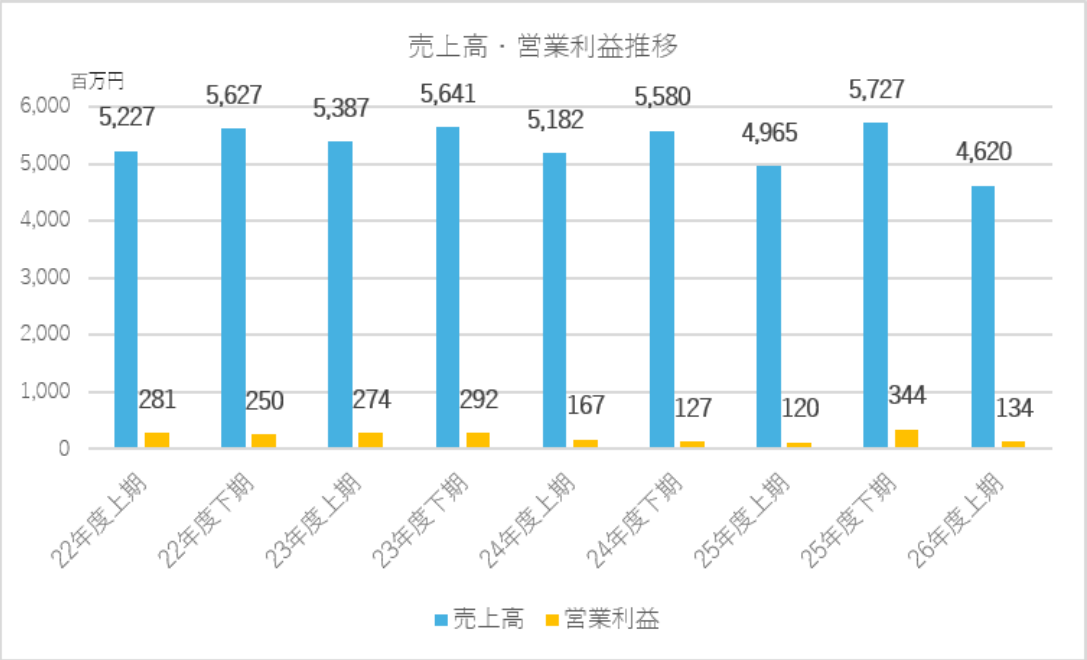
音声コンテンツの有料サブスクリプションサービス会員数が順調に増加し、コンテンツ収入は、前期比 139.7%と IP 企画事業収入の増収を牽引しました。

イベント収入は、上期に大型のイベント案件がなく前期比 75.2%と減収となりましたが、連動する物販収入等は番組連動グッズの販売等により前期比 96.7%と微減収にとどまりました。

【その他の事業収入】

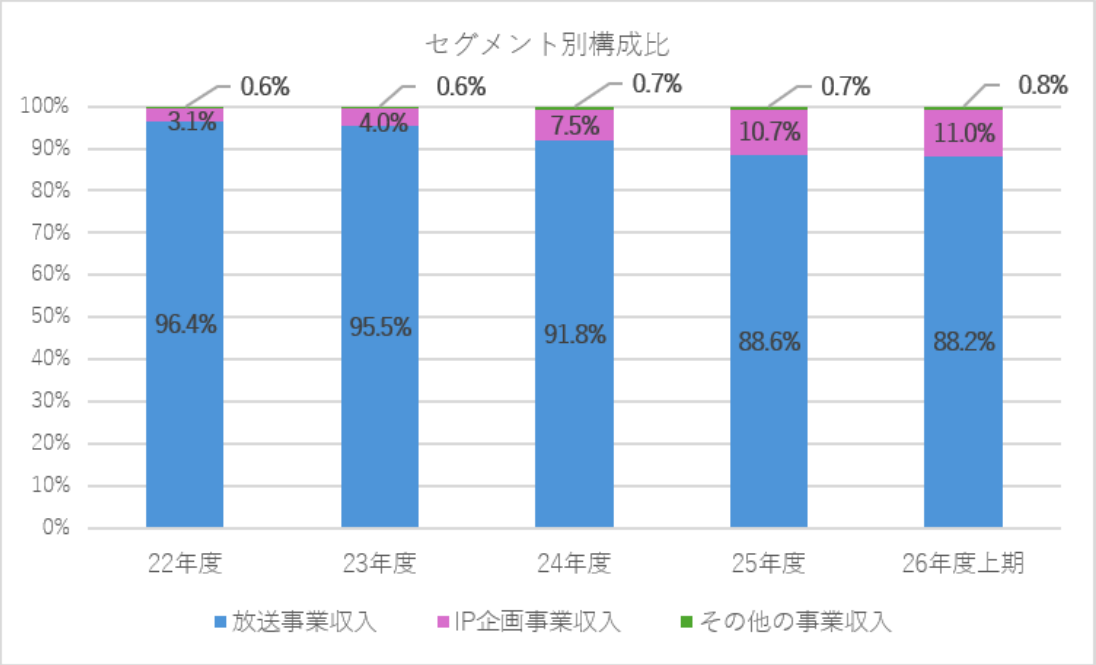
賃貸収入のうち、放送設備関連の一部収入をセグメント変更し、前期比 91.8%と減収となりました。

(3)　業績推移



半期の売上高としては過去最低水準ですが、不採算事業の見直しや原価・固定費の抑制により、前年同期との比較では減収ながらも増益となりました。

(4)　セグメント別構成比の推移



＊2022 年度及び 2023 年度までは、旧セグメント（「放送事業収入」「企画事業収入」「その他の事業収入」）の数字を使用しています。

当社は、2026 年度から 2030 年度までの中期経営計画において、成長分野である IP 企画事業収入の構成比を 2030 年度までに 25%にすることを目標としています（放送事業収入の現状維持を前提に）。2025 年度に 10%を超え、2026 年度については、下期に大型イベントを複数予定していることから、通期で 20%超を見込んでいます。

2.　2026 年度通期見通し

（1）　通期見通し

（金額単位：百万円）

	当期 2026 年度 通期見通し	前期 2025 年度 通期実績	前期比	予算比
売上高	10,456	10,692	97.8%	99.8%
営業費用	9,924	10,228	97.0%	97.8%
営業利益	532	464	114.5%	159.1%
経常利益	743	720	103.2%	138.8%

（2）　通期見通しの概況

通期では、売上ではタイム放送収入の落ち込みを賄うには至らないものの、8 月以降、利益率の良いスポット放送収入の回復基調が継続すること、下期実施予定の複数の大型イベント及びこれに連動する物販で大きな伸長を見込んでいること、そして上期同様、原価・固定費の費用抑制トレンドが継続する見込みであることから、減収ながらも増益予測となっています。

3.　トピックス

（1）　番組連動イベントの活性化

当社は、2026 年度から 2030 年度までの中期経営計画において、ラジオの魅力である「共感」や「熱量」、「リスナーとの一体感」を起点に、イベント、物販、コンテンツ販売等の多面的なビジネス展開・事業拡張を図ることを成長戦略に掲げており、2026 年度上期も複数の番組連動イベントを実施しました。



ロク漫祭
～SPITS 草野マサムネのロック大陸漫遊祭り～



Skyrocket Company
真夏のファンミーティング みんなで！はしゃいで！ダンシング！！



火曜喋るズ
「橋本・奥田の銀銀学学」



NISSA　あ、安部礼司～BEYOND THE AVERAGE～
「チーム安部礼司の大出張 2026 in 福岡」

(2)　「ポッドキャストメンバーシップ」の成長

2025 年 10 月より、平日 26 時～28 時帯に俳優、声優、アーティスト、ゲーム実況者、VTuber 等、エンタテインメントの世界で唯一無二の存在感を放つ多彩なパーソナリティを揃えた深夜のカルチャーゾーン「P-CREW」、「P-CREW Deep」を配し、音声コンテンツの有料サブスクリクションサービス「ポッドキャストメンバーシップ」と連動すると共に、各種イベントの実施、マーチャンダイジング（MD）展開を行っています。

「ポッドキャストメンバーシップ」を中心とするコンテンツ収入は、前期比 139.7%の大幅な伸長となりました。

連動するイベントや MD も盛況で、2026 年度上期も様々な企画を展開しました。



パクユチョン
Seasonal Window!



おついちの乙な夜いち



来栖りんの異議あり！



山崎昌吾の正午のひととき

(3)　「民間放送ガバナンス指針」の適用状況に関する公表

「民間放送ガバナンス指針」の適用状況を 9 月 1 日にコーポレートサイトにて公表いたしました。

https://www.tfm.co.jp/company/about/ir/jba-disclosure

中間貸借対照表
(2026 年 9 月 30 日現在)

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	**9,339,042**	**流動負債**	**1,737,612**
現金及び預金	7,650,073	買掛金	610,270
売掛金	1,522,745	未払金	413,592
商品	21,114	未払費用	383,972
貯蔵品	3,790	未払法人税等	19,325
前払費用	71,823	未払消費税等	21,702
その他	72,729	賞与引当金	133,516
貸倒引当金	△ 3,234	その他	155,232
固定資産	**18,953,690**	**固定負債**	**371,911**
有形固定資産	**6,015,829**	長期未払金	13,700
建物	6,672,991	繰延税金負債	237,454
構築物	541,272	預り保証金	91,713
機械及び装置	1,950,939	退職給付引当金	29,044
車輌及び運搬具	6,978		
工具器具及び備品	2,823,667	**負債合計**	**2,109,524**
土地	3,630,900	**純資産の部**	
減価償却累計額	△ 9,610,920	**株主資本**	**25,284,771**
無形固定資産	**84,519**	**資本金**	**1,335,000**
商標権	933		
ソフトウェア	72,054	**資本剰余金**	**935,000**
その他	11,530	資本準備金	935,000
投資その他の資産	**12,853,342**	**利益剰余金**	**23,014,771**
投資有価証券	3,753,778	利益準備金	134,740
関係会社株式	7,136,056	その他利益剰余金	22,880,031
長期性預金	1,700,000	別途積立金	5,000,000
長期貸付金	350	繰越利益剰余金	17,880,031
長期前払費用	16,593		
差入保証金	55,336	**評価・換算差額等**	**898,438**
その他	257,617		
貸倒引当金	△ 66,390	その他有価証券評価差額金	898,438
		純資産合計	**26,183,209**
資産合計	**28,292,733**	**負債純資産合計**	**28,292,733**

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

比較中間損益計算書
（2026年4月1日から9月30日まで）

（単位：千円）

勘定科目	当期2026年度中間期 （2026.4.1～2026.9.30）	前期2025年度中間期 （2025.4.1～2025.9.30）	前期比
売上高	4,620,656	4,965,477	93.1%
売上原価	2,940,090	3,250,195	90.5%
売上総利益	1,680,565	1,715,282	98.0%
販売費及び一般管理費	1,545,648	1,594,555	96.9%
営業利益	134,917	120,726	111.8%
(売上高営業利益率)	2.9%	2.4%	
営業外収益	162,643	188,772	86.2%
営業外費用	244	390	62.6%
経常利益	297,315	309,108	96.2%
(売上高経常利益率)	6.4%	6.2%	
税引前中間純利益	297,315	309,108	96.2%
法人税、住民税及び事業税	16,972	20,356	83.4%
法人税等調整額	2,496	△12,655	－
中間純利益	277,846	301,407	92.2%

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

比較中間売上高内訳書
（2026 年 4 月 1 日から 9 月 30 日まで）

（単位：千円）

	当期2026年度中間期 (2026.4.1～2026.9.30)	前期2025年度中間期 (2025.4.1～2025.9.30)	前期比
売上高	4,620,656	4,965,477	93.1%
放送事業収入	4,076,848	4,452,977	91.6%
放送収入	2,597,345	2,747,390	94.5%
タイム放送料	1,573,312	1,783,613	88.2%
スポット放送料	1,024,033	963,777	106.3%
制作収入	962,461	1,085,263	88.7%
その他	517,041	620,323	83.4%
IP企画事業収入	508,386	473,912	107.3%
その他の事業収入	35,420	38,588	91.8%

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。